りすじろう通信

2020年度
「第3回JVR養成講座」号

ようこそ！　栗東自然観察の森へ　第3回JVR養成講座「バンダナを草木で染めよう」の様子を紹介します。

スーパーJVR認定

活動に先立ち、講座の単位認定基準にもとづいて、昇段認定式が執り行われました。おめでとうございます。それでは、はじまりの会で本日の活動内容について確認します。

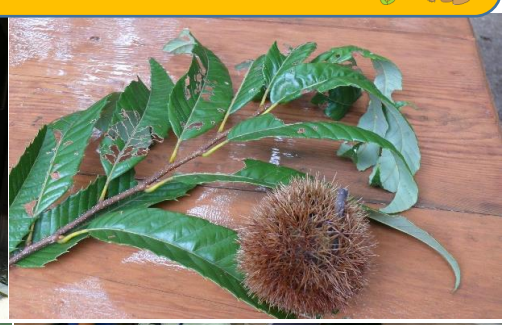
今年の染材は、「クリ」の枝・葉・樹皮を選びました。どのような色に染まるかお楽しみに♡

この様子は、7月11日に布を前処理されている様子だよ！

草木染めを指導していただく講師の方は、ご自身もJVR養成講座の卒業生でいらっしゃる、染色アーティストの林優里先生です。

林先生は、JVRサポーターズでもあるので養成講座では大変お世話になっています。ニックネームは「ちくりん」先生です。では、ご指導の程お願いいたします。

工程① 染液づくり

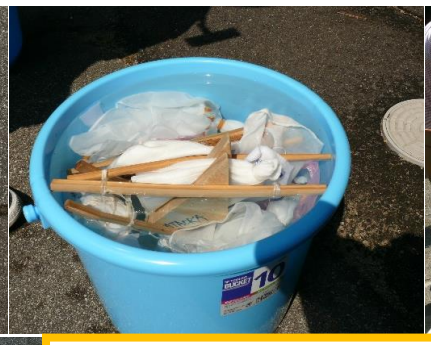


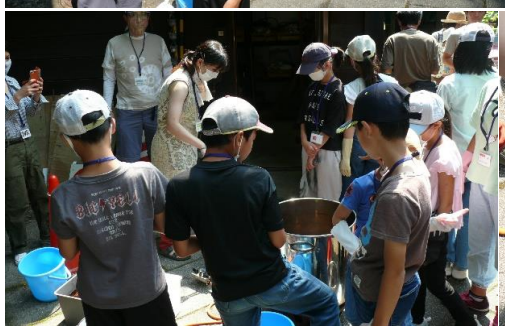
工程② 模様入れ

染める布は、木綿のバンダナです。林先生に準備いただいた資料を参考に模様を自分の手で入れていきます。やっぱり昨年草木染めを体験された講座生は、黙々と作業を進めます。はたして、思い描く模様になるでしょうか? いちばん夢が膨らむ作業です♡

具体的な手順は、布にビー玉などを入れて紐で縛ったり、形のあるものを強く押し当てたりすると、染色後に模様が浮かびあがります。今年も、観察の森の所長が参加され、体験活動を一緒に楽しませていただきました.

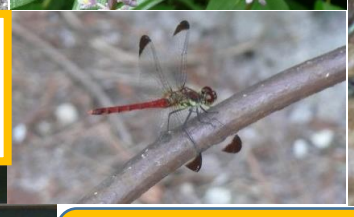
工程③ 前処理/ 工程④ 染色





布の素材と染液の種類によって布を漬ける時間や染液の温度を管理する必要があります。
今年もですが、なにげない作業の中で、自然の素材を生かす感性が育まれています。

森を観察　今年のテーマは森とともだちになろう　染まるまでの時間を利用して・・・



森ではあなたの瞳に「何?」がうつりましたか?
森の色?　森の匂い?　森に暮らす生きもの?
お気入りの森に出逢えるといいね♡

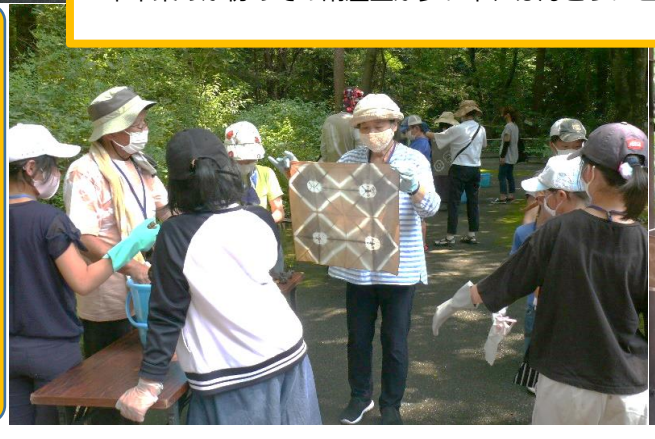
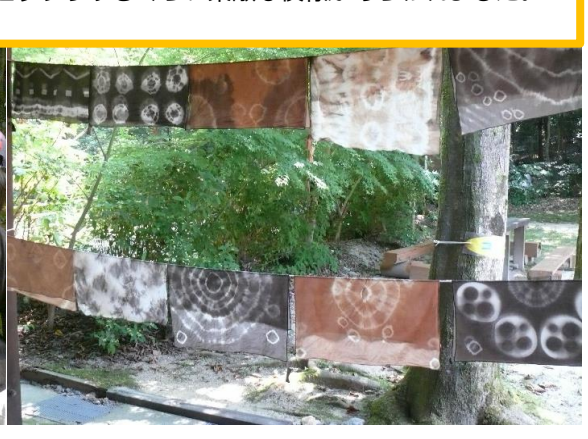
何してるの?

工程⑤ 媒染/ 工程⑥ 水洗い・乾燥

媒染は、「布」と「染材の色」をしっかりくっつけるための作業になります。媒染に用いる媒染液は、「アルミ」と「鉄」を準備いただきました。この媒染液は、どちらを使用するかで、仕上がりの布の色が変わります。

左の写真の通り、皆さんから向かって左側は、「アルミ」で右側は「鉄」になります。ご覧の通り、同じ一枚の布で別々の媒染液を利用することができます。この場合は、媒染液が混ざらないようにする必要がるので、説明する手順を必ず守ってください。

水洗い後、いよいよ縛った紐を解いていきます。

草木染めが初めての講座生が多い中、ほんとうにビックリするくらい素敵な模様があらわれました。

ふりかえり
林先生、草木染めのご指導ありがとうございました。
JVRサポーターズの皆さま、布の前処理などの事前準備や染液の作製並びに、講座生への目配りと指導について、たいへんありがとうございました。
講座生の皆さまには、本当に素敵な作品が出来上がりましたね。りすじろうもビックリです
例年ですと次回は、「秋まつり」の準備になりますが、秋まつりは中止となりました。でも心配ご無用。次の講座もお楽しみに。